

### ■引き続き、議会運営委員会の委員長に就任 一問一答方式導入に注力

9月に常任委員等の改選が行われ、私は市民教育常任委員と議会運営委員になり、議会運営委員会では委員長に再選されました。

議会を円滑に運営するためには、各会派の調整が欠かせません。議会のあり方を検討したり、新しい仕組みを考えたりするためにも、その議論の場が必要です。議会運営委員会は、そのような議会の運営を協議する場であり、委員長は議会運営の取りまとめ役です。前年に引き続き、議会を支える「縁の下の力持ち」として汗をかいてまいります。

今、議会運営委員会で議論しているのが、本会議の一般質問における「一問一答方式」の導入についてです。議会での議論の活性化と市民の皆さんに分かりやすい議会運営にするために、従来の「一括質問一括答弁方式」に加え、「一問一答方式」を早期に導入できるよう、議論を深めてまいります。



### ご意見・ご要望をお寄せください!

どのようなことでも構いません。特に「震災復興・防災」「空き家問題」「自転車対策」についての、ご意見・ご要望をお寄せください。お待ちしております。

#### 震災復興・防災

「復興のスピードをもっと上げられないのか」「困っている人にこそ支援を」「防災対策はきちんとやってほしい」などなど、今回の大震災や復興への取り組みについて、感じておられることをお寄せください。

#### 空き家問題

近年、廃屋のような「空き家」が増えていきます。雑草の繁茂、動物の棲みつき、倒壊や建材の飛散のおそれなど、老朽化した空き家は、地域社会に対して不安と危険をもたらしています。行政がすべきことは何か、ご意見・ご提言をお願いします。

#### 自転車対策

自転車は燃料もいらないエコな乗り物で、大震災後、自転車利用者が増えていきます。一方で、放置自転車の撤去に多額の経費を要しており、また、自転車関連事故の増加、交通ルール・マナー違反も絶えず、通行環境の整備も不十分な状況です。行政は自転車対策についてどのようなことに力を入れて行くべきか、ご意見・ご提言をお願いします。

#### その他

どのような分野のことでも構いません。ご意見・ご要望・ご提言をお寄せください。

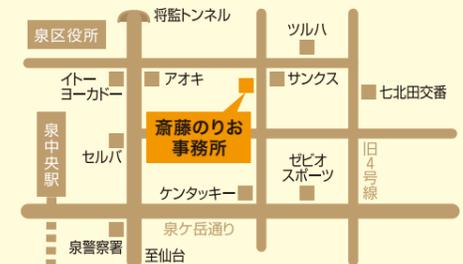
### 斎藤のりおプロフィール

- ◆ 昭和29年8月10日生まれ
- ◆ 古川高校、北海道大学経済学部卒業
- ◆ 宮城県庁に勤務
- ◆ 七北田小・七北田中でPTA会長
- ◆ 平成15年 仙台市議会議員初当選(現在3期目)
- ◆ 議会
  - ・議会運営委員会委員長
  - ・市民教育常任委員
  - ・会派「自由民主党・仙台」幹事長
- ◆ 自由民主党泉区支部長

### 斎藤のりお事務所

TEL&FAX 022-375-2101

- 住所 仙台市泉区泉中央3-27-10
- ホームページ <http://www.saito-norio.net>
- e-mail [info@saito-norio.net](mailto:info@saito-norio.net)



# のりお通信

norio-tsushin  
vol. 17  
冬号



斎藤範夫事務所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央3-27-10  
TEL&FAX:022-375-2101 Mail:info@saito-norio.net

## 復興へ前進!

### 財政には要注意!

皆様お元気でしょうか。私の市政活動報告をお読みいただきありがとうございます。

さて、東日本大震災から1年9カ月が過ぎ、仙台市では復興へ向けた動きが加速してきました。東部地域の再生の要となる県道塩釜線のかさ上げ道路事業が10月着手となり、復興公営住宅の一部が10月着工、宅地復旧事業も12月から順次着工となるなど、復興に向け大きく前進しています。主要な取り組みを裏面に特集として掲載しましたので、是非ご覧ください。



決算等審査特別委員会の質疑

ところで、震災により仙台市の財政がどのようになるのか大変気になるところです。平成23年度決算について、復旧・復興事業費の増大に伴い、歳入歳出ともに過去最大規模になったことは報道されていますが、私は次の2点

に注目しています。

①下の図に見られるように、市税収入と経常経費がかい離した状態、いわゆる「ワニの口が開いた状態」が進行し、財政状況が一段と悪化したことです。

②財政指標の経常収支比率が101.6という極めて異常な値になったことです。100を超えているということは、経常経費を経常収入で賄うことができず、財政が綱渡り状態になっていることを示しています。

今後、市税収入は回復するのか、また、復興事業の規模や財源の手当てはどうなるのか、税と社会保障の一体改革による影響はどうかなど、歳入歳出とも不確定要素が多くあります。このため、復興事業に対する国の支援の充実を求めるとともに、無駄な経費を削減するなど行財政改革を徹底していく必要があります。

震災からの復興を成し遂げるとともに、これ以上の財政悪化を食い止め、災害に強く住みよい都市づくりに全力で取り組んでまいります。今後ともご指導ご鞭撻をお願いします。

仙台市議会議員 斎藤範夫

### ワニの口が開いた状態の仙台市財政

